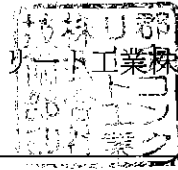


骨材試験成績書

令和 8年 2月度

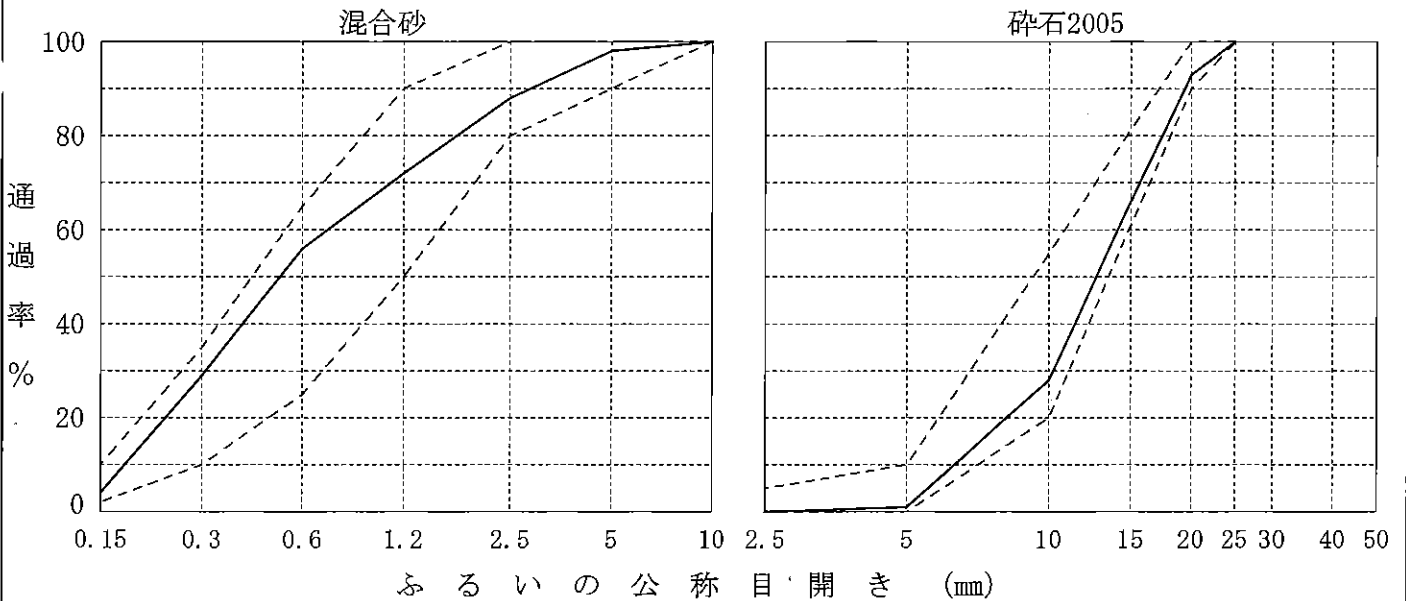
郡家コンクリート工業株式会社 私都工場



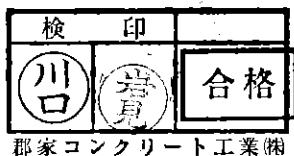
	産地品名	骨材名称
骨材①	岡山県津山市加茂町知和	砕砂
骨材②	鳥取市湖山地区	砂
骨材③	鳥取県米子市	鋳物廃砂
骨材④	岡山県津山市加茂町知和	碎石2005

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)			
					ふるい(mm)	混合砂	碎石2005	
最大寸法(mm)	5	1.2	1.2	20				
表乾密度 (g/cm ³)	2.63	2.59	2.95	2.70	150			
絶乾密度 (g/cm ³)	2.58	2.55	2.91	2.66	100			
吸水率 (%)	2.16	1.52	1.23	1.50	80			
微粒分量 (%)	3.01	1.02	1.80	0.36	60			
粘土塊量 (%)		-			50			
実積率 (%)				58.6	40			
粒形判定実積率 (%)	58.1		59.1	59.2	30		100	
有機不純物 (標準色よりも)		薄い			25		93	
塩化物量 (%)		0.000			20		66	
密度1.95に浮く粒子 (%)					15		28	
すりへり減量 (%)				15.3	10	100	28	
安定性 (%)	6.3	1.2	2.6	7.7	5	98	1	
					2.5	88	0	
					1.2	72		
					0.6	56		
					0.3	29		
					0.15	4		
					粗粒率	2.53	6.78	

粒度曲線

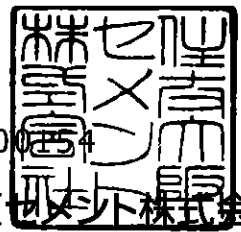


備考:



セメント試験成績表

№ 0800254



2026年2月度

住友大阪セメント株式会社

品質	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメント B 種 JIS R 5211				
	JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			
		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)	
密度 g/cm ³	-	3.15	-	-	-	3.13	-	-	-	3.04	-	-	
比表面積 cm ² /g	2500以上	3400	72	-	3300以上	4620	74	-	3000以上	4000	65	-	
凝結	水量 %	-	27.5	-	-	29.6	-	-	-	29.7	-	-	
	始発 h-min	60min以上	2-06	-	(1-50)	45min以上	1-39	-	(1-15)	60min以上	2-57	-	(2-45)
	終結 h-min	10h以下	3-31	-	4-20	10h以下	2-35	-	3-30	10h以下	4-51	-	5-40
安定性	良	良	-	-	良	良	-	-	良	良	-	-	
圧縮強さ N/mm ²	1d	-	-	-	-	10.0以上	28.8	1.31	-	-	-	-	
	3d	12.5以上	31.9	1.34	-	20.0以上	48.3	1.55	-	10.0以上	22.5	1.35	
	7d	22.5以上	45.8	1.71	-	32.5以上	57.9	1.61	-	17.5以上	36.3	1.55	
	28d	42.5以上	62.1	1.94	-	47.5以上	68.2	1.86	-	42.5以上	62.4	1.79	
水和熱 J/g	7d	-	337	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	28d	-	383	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	0.96	-	1.52	5.0以下	0.80	-	1.63	6.0以下	3.35	-	3.69
	三酸化硫黄	3.5以下	2.42	-	2.56	3.5以下	3.06	-	3.25	4.0以下	1.86	-	2.19
	強熱減量	5.0以下	2.56	-	2.86	5.0以下	1.34	-	1.55	5.0以下	1.90	-	2.10
	全アルカリ	0.75以下	0.58	-	0.63	0.75以下	0.42	-	0.61	-	-	-	-
	塩化物イオン	0.035以下	0.021	-	0.028	0.02以下	0.011	-	0.016	-	0.016	-	-

備考:

高炉セメントB種

- ベースセメントの全アルカリ (%) : 0.58
- 高炉スラグの分量 (%) : 40~45

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大値

- 普通ポルトランドセメント (%) : 0.63 ✓
早強ポルトランドセメント (%) : 0.64

- 試験方法は、JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203 及び JIS R 5204 による。なお JIS R 5202 は本体法による。
- 安定性の試験成績は、バット法による。
- 28d の圧縮強さ及び水和熱は、前月度の値を示す。

お問い合わせその他ご連絡先:

住友大阪セメント株式会社
広島支店

〒732-0827 広島市南区稲荷町4番1号
(広島稲荷町NKビル7階)
TEL(082)577-7641(代)
岡山営業所 TEL(086)225-5785



郡家コンクリート工業(株)



シーカ・ジャパン株式会社

郡家コンクリート工業(株) 私都工場 御中

2026年 1月度~2026年 6月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種類 高性能減水剤 (I種)
商品名 シーカ ビスコクリート ACE 390 (100%)

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	12 以上	15 ✓	15 ✓	
	ブリーディング量の比 %	- 以下	-	-	
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	- 以下	-	-	
	凝結時間の差分	始発	+90 以下	-30 ✓	-10 ✓
		終結	+90 以下	-35 ✓	-10 ✓
経時変化量	スランプ cm	- 以下	-	-	
	空気量 %	- 以内	-	-	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	- 以上	-	
		材齢2日 (5°C)	- 以上	-	
		材齢7日	115 以上	133 ✓	149 ✓
		材齢28日	110 以上	119 ✓	135 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	94 ✓	-	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	- 以上	✓ - ✓	- ✓		

注記1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 7.00 kg/m^3 性能確認試験 7.00 kg/m^3

注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年11月の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年5月の試験結果である。

注記3. この表に表示している形式評価試験は、2024年9月にボリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl-)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl-)量	0.02 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3	0.00 % ✓	7.00 kg/m^3	0.00 kg/m^3 ✓
全アルカリ量	0.30 kg/m^3 以下	0.03 kg/m^3	0.4 % ✓	7.00 kg/m^3	0.03 kg/m^3 ✓

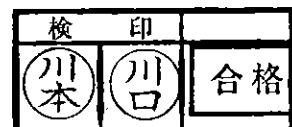
注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年11月の試験結果である。

注記2. この表に表示している形式評価試験は、2024年9月にボリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値 ✓
密度 (g/cm^3 , 20°C)	1.01 ~ 1.07	1.03

注記. この表に表示している試験値は、2025年11月の試験結果である。



郡家コンクリート工業(株)



試験報告書

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

(1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

- ・粒度調整した代表試料の粒度分布：粒度区分A
- ・湿度95%以上を確保した手段：吸気紙による被覆及び容器底面の水張り

(2)使用したセメント

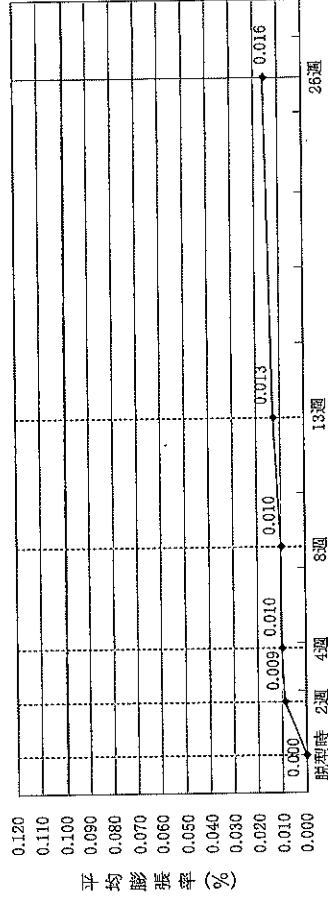
- ・種別：普通ポルトランドセメント
- ・販売会社名：一般社団法人 セメント協会
- ・酸化ナトリウム(Na₂O) 0.27 %
- ・酸化カリウム(K₂O) 0.38 %
- ・全アルカリ量(R₂O) 0.52 %
- ・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量：1.2 %

(3)判定基準 骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

【備考】 なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならぬ。

(4)試験結果

試験No.	測定材齢	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
1	—	—	0.009	0.011	0.011	0.014	0.016	無害
2	—	—	0.009	0.010	0.010	0.013	0.016	
3	—	—	0.009	0.009	0.010	0.013	0.016	
平均	0.000	0.000	0.009	0.010	0.010	0.013	0.016	
外観観察	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	



測定材 齢 以上

一般財団法人 日本品質保証機構



試験報告書

ふじもと組 殿
岡山県津山市加茂町知和467-5

試験品内容：[種 別] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディーシズコンクリート用骨材」
 JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
 [大 小] コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)
 [取 扱] 20~5mm
 [採 取 日] 2025年4月9日
 [採 取 地] 岡山県津山市加茂町知和
 [採 取 場 所] ストックヤード
 [製 造 業 者] (株)ふじもと組

試験項目：I. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

受領日(試料持込日)：2025年 4月 10日

試験日：2025年 4月 10日 ~ 2025年 10月 17日

試験結果：次頁以降のとおり

特記事項：—

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテック試験所 試験室
 (注) 1.上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
 2.試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき変更したものである。
 3.試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 11月 28日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
 一般財団法人 日本品質保証機構
 関西マテリアルテック試験所 所 長 井上 幸 義
 技術管理者 那良 時 義



この試験報告書の転載、一部分の複製をすることは、事前に当機構の承認を受けてください。同、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構



試験報告書

有限会社 相互商事 殿
鳥取県鳥取市湖山町北3丁目468

試験品内容: [種別] JIS A 5308:2024 附屬書 JA 「レディミキストコンクリート用骨材」
細骨材 砂 (隠砂)
[採取日] 2025年12月29日
[産地] 鳥取市湖山町地内
[採取場所] 鳥取市湖山町地内
[製造業者] (有)相互商事
鳥取市湖山町北3丁目468

試験項目: 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法) ✓

受領日(試料持込日): 2026年1月6日

試験日: 2026年1月6日 ~ 2026年1月14日 ✓

試験結果: 次頁以降のとおり

特記事項: -

試験実施場所: 一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所
(注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内装等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき確認したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2026年1月19日



大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所
所長 井上 雅
技術管理者 那良 時義

この試験報告書の記載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

(1) 試験方法 JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」による。

- (2) 判定基準 a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が70mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を「無害」と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を「無害でない」と判定する。
b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が70mmol/L未満の場合、その骨材を「無害」と判定する。
c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合には判定しない。

(3) 試験結果

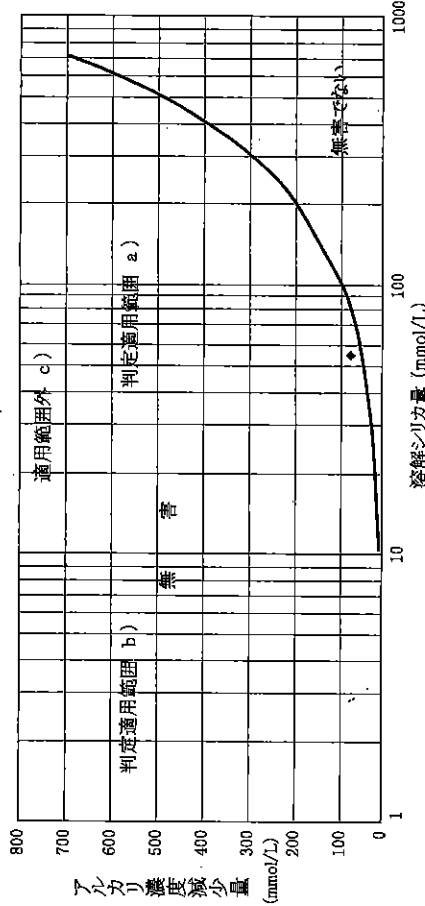
Table with columns: 繰り返し回数, 試験時間, アルカリ濃度減少量 (Rc), 溶解シリカ量 (Sc), 平均値, 判定. Includes calculation: 希釈倍率 n = 10

Re = 20 x 0.05 x F / V1 (V2 - V1) x 1000
Sc = 20 x n x A x I / 28.09

Re: アルカリ濃度減少量
F: 0.05mol/L塩酸標準液のフクタール=1.003
V1: 希釈試料溶液からの分取量
V2: 希釈試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量
V3: 希釈した空試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量

以上

(参考)





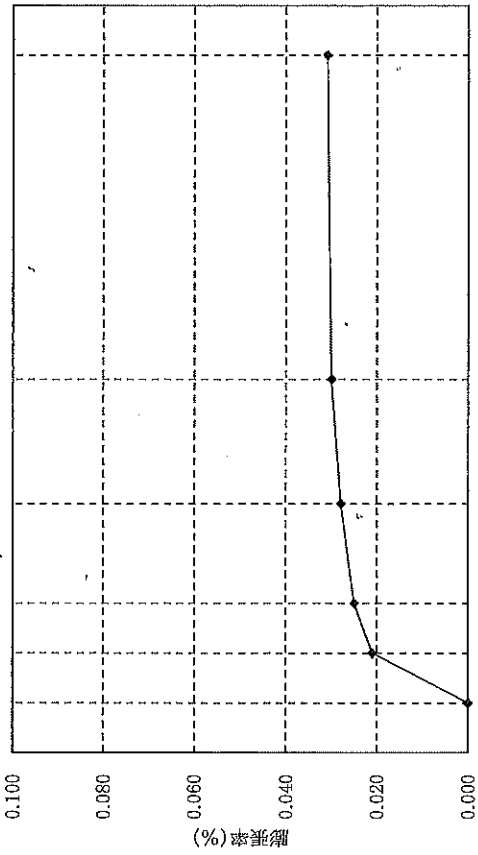
骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

【モルタルバー法】
 JNLA登録試験事業者
 ベルテクス株式会社 試験分析センター
 福井県鯖江市二丁目5番7号 徳島支店
 TEL:0778-62-1000 FAX:0778-62-7723
 発行責任者 センター長 小林 宏成

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

依頼者	郡家コンクリート工業株式会社																																											
所在地	鳥取県八頭郡八頭町山上363-17																																											
試験日	令和7年5月28日	令和7年11月25日																																										
種類(岩種)	鑄物砂(S) 加工砂(S)	産地 鳥取県八頭郡八頭町																																										
採取日	令和7年5月14日	搬入日 令和7年5月19日																																										
採取場所	郡家コンクリート工業株式会社 採取者 川口																																											
試験方法	JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。 ※試験に用いたセメント 種別 : 普通ポルトランドセメント 製造会社名 : 社団法人 セメント協会 酸化ナトリウム(Na ₂ O) : 0.27 % 酸化カルシウム(CaO) : 0.88 % 全アルカリ量 : 0.52 % ※水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %																																											
試験実施場所	ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁目5番7号6番地																																											
試験結果	モルタルバー法による試験体の膨張率 単位: % <table border="1"> <thead> <tr> <th>供試体番号</th> <th>脱型時</th> <th>2週</th> <th>4週</th> <th>8週</th> <th>13週</th> <th>26週</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>0.021</td> <td>0.025</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.032</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>—</td> <td>0.021</td> <td>0.025</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.031</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>—</td> <td>0.020</td> <td>0.024</td> <td>0.027</td> <td>0.029</td> <td>0.031</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>0.000</td> <td>0.021</td> <td>0.025</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.031</td> </tr> <tr> <td>外観観察結果</td> <td>—</td> <td>良</td> <td>良</td> <td>良</td> <td>良</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table>		供試体番号	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	1	—	0.021	0.025	0.028	0.030	0.032	2	—	0.021	0.025	0.028	0.030	0.031	3	—	0.020	0.024	0.027	0.029	0.031	平均値	0.000	0.021	0.025	0.028	0.030	0.031	外観観察結果	—	良	良	良	良	良
供試体番号	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週																																						
1	—	0.021	0.025	0.028	0.030	0.032																																						
2	—	0.021	0.025	0.028	0.030	0.031																																						
3	—	0.020	0.024	0.027	0.029	0.031																																						
平均値	0.000	0.021	0.025	0.028	0.030	0.031																																						
外観観察結果	—	良	良	良	良	良																																						
判定基準	① 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合 : 無害 ② 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%以上の場合 : 無害でない ※備考 材齢13週後に0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で無害でないとしてよい。その場合、26週の測定を省略できる。材齢13週で0.050%未満の場合は26週まで試験を続けた後に判定しなければならぬ。																																											
判定	無 害 ✓ (5)																																											
備考	「JIS A 5005 5.6 アルカリシリカ反応性」に基づき、本試験結果は、同一原石により製造された砕石および砕砂に用いることが出来る。 ※モルタルバー法による膨張率を裏面に示す。																																											
技術管理者	榎田 直也																																											
試験担当者	江指 尚美																																											

本書の取扱いについて
 ・本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
 ・本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
 ・本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようして下さい。



アルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)による膨張率

コンクリート中の塩化物量		検印欄	
合否基準値 0.30 kg/m ³ 以下		Q C M	試験係
対象期間 令和 7年 3月 1日 ~ 令和 8年 2月 2日		川口	岩見

No.	日付	測定値			平均	合否	No.	日付	測定値			平均	合否
1	3/ 1	0.036	0.031	0.034	0.034	合							
2	4/ 1	0.035	0.033	0.032	0.033	合							
3	5/ 1	0.032	0.029	0.034	0.032	合							
4	6/ 2	0.038	0.038	0.040	0.039	合							
5	7/ 1	0.042	0.046	0.043	0.044	合							
6	8/ 1	0.033	0.029	0.031	0.031	合							
7	9/ 1	0.035	0.032	0.032	0.033	合							
8	10/ 1	0.031	0.029	0.034	0.031	合							
9	11/ 4	0.042	0.039	0.037	0.039	合							
10	12/ 1	0.028	0.033	0.031	0.031	合							
11	1/ 6	0.046	0.043	0.048	0.046	合							
12	2/ 2	0.041	0.042	0.044	0.042	合							

データ数 n = 12 標準偏差 s = 0.005 \bar{x} = 0.036

摘要欄	
-----	--